



# 良好な環境の創出に向けた 新たな水環境政策の検討について

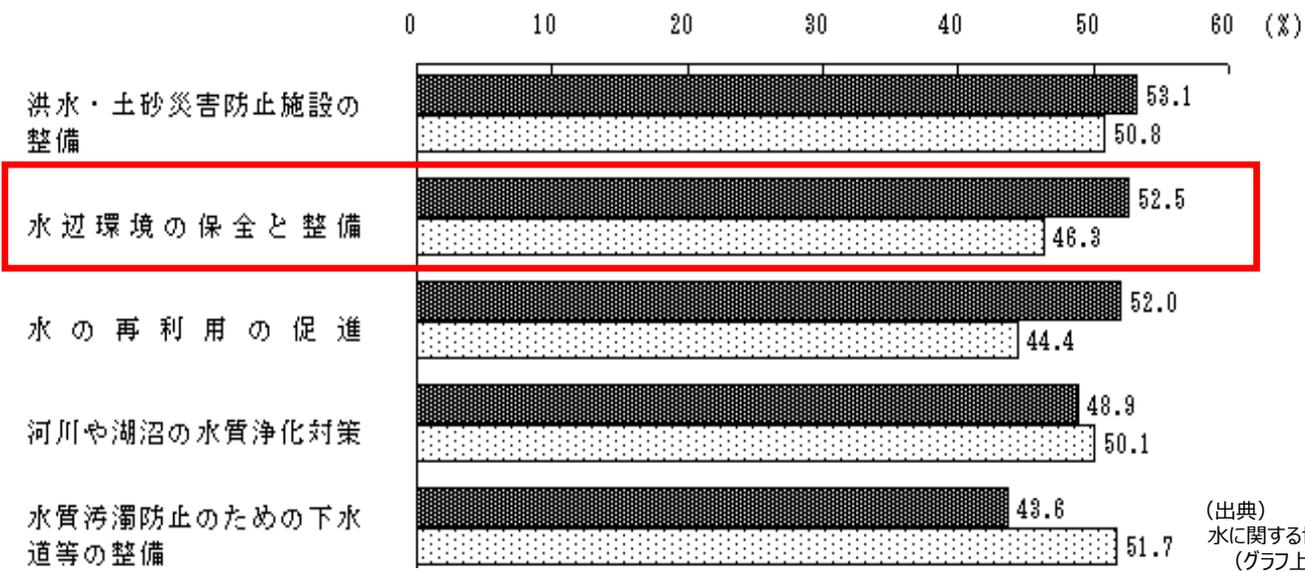
令和7年5月21日  
環境省 水・大気環境局 環境管理課



## ■ 水に関する世論調査（平成20年6月調査）

問：行政に力を入れてほしいことは？

（複数回答）



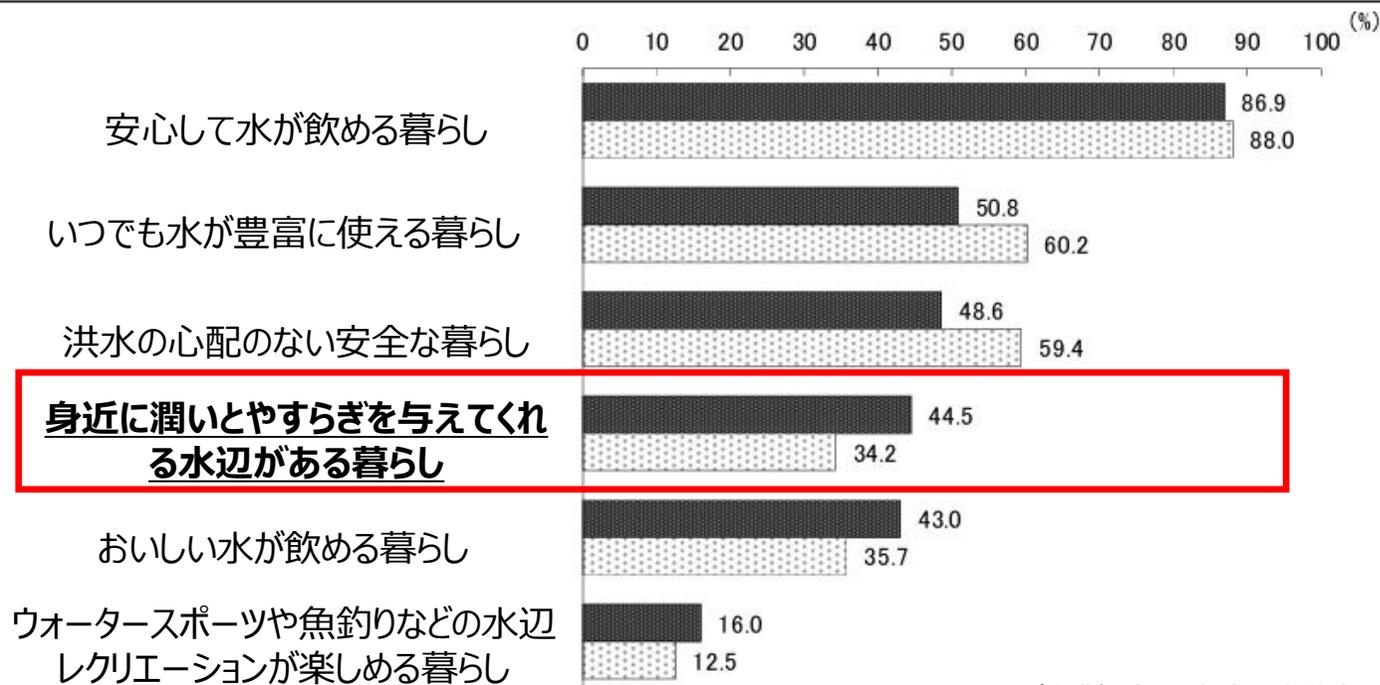
（※上位5つを掲載）

（出典）  
水に関する世論調査（平成20年6月調査）  
（グラフ上段が平成20年調査、下段が平成13年調査）

## ■「水循環に関する世論調査（令和6年内閣府）」

### （１）水とのかかわりのある豊かな暮らし

問１．あなたは、水とのかかわりのある豊かな暮らしとはどのようなものだと思いますか。  
（〇はいくつでも）

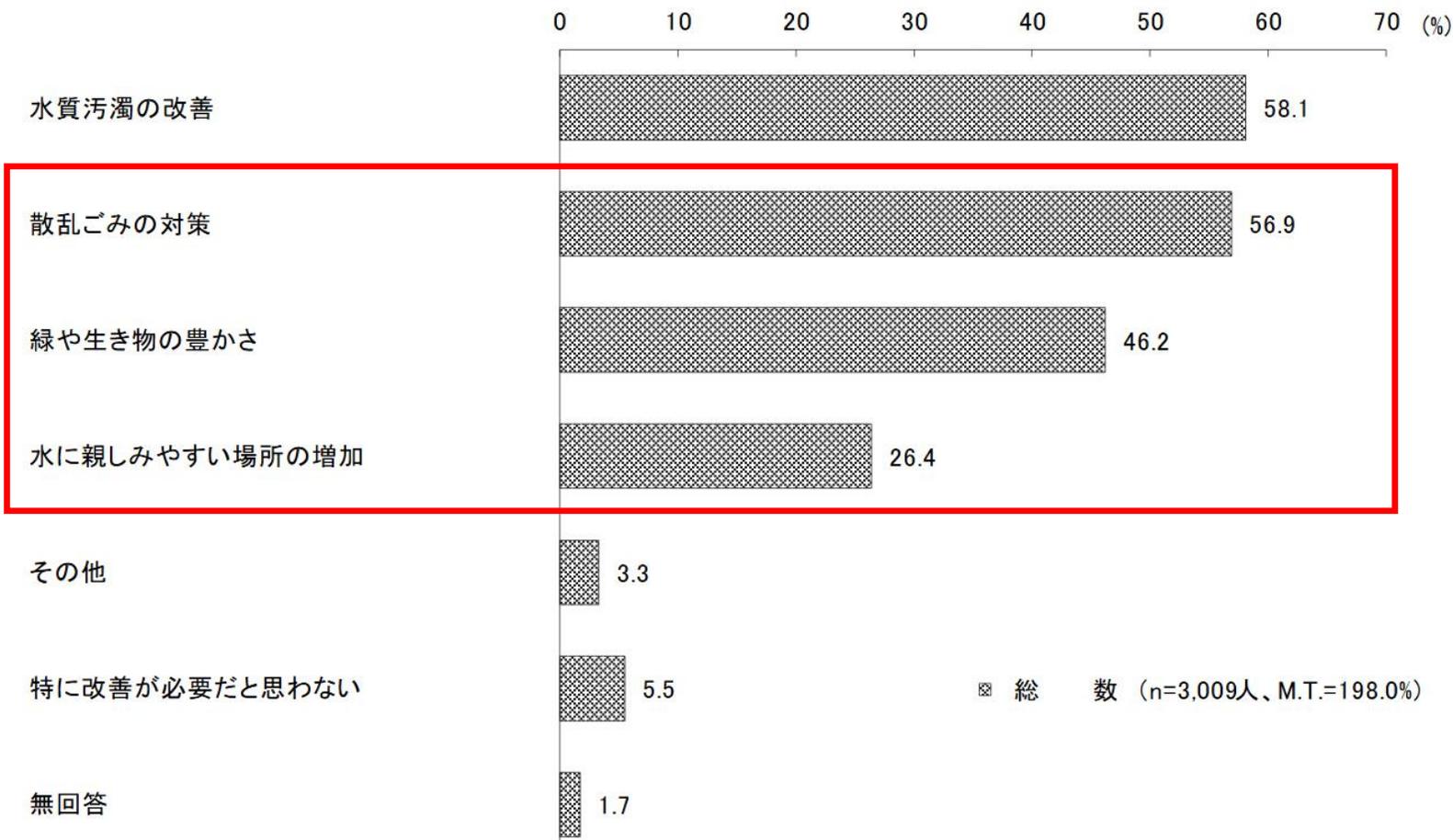


（出典）令和6年内閣府世論調査  
水循環に関する世論調査（令和6年7月調査）  
（グラフ上段が令和6年調査、下段が令和2年調査）

## ■「身近な環境（水辺、緑地、大気など）に関する世論調査（令和6年 内閣府）」

問：水環境についてどのような改善策を期待するか

（複数回答）



# これまでの環境基本計画

## 第1次 環境基本計画（1994年12月 閣議決定）

水質、水量、水生生物、水辺地を総合的にとらえ、水環境の安全性の確保を含めて、水利用の各段階における負荷を低減し、水域生態系を保全するなど、対策を総合的に推進する。

## 第2次 環境基本計画（2000年12月 閣議決定）

水環境の保全に関しては、水環境を構成する水質、水量、水生生物及び水辺地を総合的にとらえ、環境への負荷が水の自然的循環の過程における浄化能力を超えることのないよう、水環境の安全性の確保を含めて、水利用の各段階における負荷を低減し、水域生態系を保全するなど、施策の総合的推進を図ります。

## 第3次 環境基本計画（2006年4月 閣議決定）

国は、流域の住民が、流域ごとの特性に応じ、環境保全上健全な水循環の構築の観点から、水循環の課題点を共有し、目指すべき将来像を設定することを支援するため、住民等が参加しながら、水質のみならず、水量、水辺地、水生生物を含めた水環境を総合的に評価する手法や効率的・効果的なモニタリング体制等、環境保全上の観点から水循環の健全性を診断していく上で効果的な手法等の検討を行います。

### ア 水質環境基準の設定等

地域の住民、事業者などの参加や協力を得ながら、地域の実情に即し、水質、水量、水辺地及び水生生物等を含めた水環境を総合的に評価する手法について調査検討します。

# これまでの環境基本計画

## 第4次 環境基本計画（2012年4月閣議決定）

水質、水量、水生生物等、水辺地を総合的に捉えて様々な水環境保全施策を展開するとともに、環境への負荷が自然浄化能力を超えないようにするため、水利用の各段階における負荷の低減と汚染の未然防止が図られるよう必要な対策を講じる

水環境を総合的に評価する指標や水量、水生生物等、水辺地についても、それぞれの良好な状態を的確に表すことができる指標の検討を進める

## 第5次 環境基本計画（2018年4月閣議決定）

水環境の保全を進めるに当たっては、河川の流入先の海域も含め流域全体を総合的に捉え、それぞれの地域に応じて、各主体がより一層の連携を図りつつ、次のような流域に共通する取組を進めるとともに、地域の特性に応じた課題を取り込みつつ、取組を展開していくこととする。

## ■ 地域の観点

地域固有の水環境との関わり方、水にまつわる歴史・文化など、それぞれの地域により、ふさわしい水環境の目標のイメージは異なっている。また、（略）地域住民の方々が自分たちの水環境であることを誇れることで、自ら水環境の保全を持続的に進めていくことが可能となる。そのためにも、地域住民にわかりやすい環境目標など、それぞれの地域において、合意形成を図りながら、地域にふさわしい水環境の保全・再生に向けた取組が進められるような仕組みを構築していくことが大切である。

## ■ 水環境保全・再生の目標について

現在は、環境基本法に基づく環境基準としては、水質以外の水環境の構成要素が位置づけられていないため、他の構成要素も考慮した望ましい水環境を表すような環境基準については今後の課題であるが、当面は、目標となりうる指標について、定量的な基準のみならず、定性的に表すことができる指標を検討していくことが必要である。例えば、水環境健全性指標や宍道湖で実施された五感を用いた水環境の評価手法など、厳密な科学的知見や数値化によらない方法であっても、相対的な評価や地域住民の意見形成における共通の物差しとして有効な指標については、望ましい水環境を評価する上で有用であり、地域ごとの特徴を踏まえた望ましい水環境保全の目標として検討していくべきである。

## ■ 国民の実感に合った環境基準への見直し

生活環境項目（BOD、COD）の達成状況は、河川BODが9割以上、海域CODが8割程度となっているが、水環境に関する国民の実感と比べて乖離しており、環境基準の指標及び目標は、水環境の実態を表していない、あるいは国民の実感に合った、分かりやすい指標となっていないのではないかと指摘がなされている。（略）良好な水質又は水質汚濁の状況を表すだけでなく、「水の美しさ・清らかさ」、「水の利用のしやすさ」、「生物にとってのすみやすさ」、「水生生物の多様性」など、水質、水量、水生生物、水辺地を含む目標の視点を含めた指標の導入について検討していく必要がある。

「今後の水環境保全に関する検討会」

須藤 隆一	東北大学大学院工学 研究科客員教授（座長）
浅野 直人	福岡大学法学部 教授
猪狩 良彦	福島県生活環境部 水・大気環境課長
池 道彦	大阪大学工学研究科 教授
及川 勝	全国中小企業団体中央会政策推進部 部長
大木 貞幸	埼玉県中央環境管理事務所 所長
太田 信介	全国農村振興技術連盟 委員長
岡田 光正	放送大学 教授
奥村 彰	(社)日本経済団体連合会環境安全委員会 環境リスク対策部会環境管理WG座長
笠松 正広	大阪府環境農林水産部環境管理室長
木幡 邦男	(独)国立環境研究所 水圏環境研究領域長
田中 宏明	京都大学大学院工学研究科 附属流域圏総合環境質研究センター 教授
中杉 修身	元上智大学地球環境学研究科 教授
平沢 泉	早稲田大学理工学術院 教授
福岡 捷二	中央大学理工学部 教授
細見 正明	東京農工大学大学院 化学システム工学科 教授
堀口 健夫	北海道大学大学院法学研究科 准教授
眞柄 泰基	学校法人トキワ松学園 理事長
森田 昌敏	愛媛大学農学部 教授

所属・役職は当時のもの

# 新たな水環境政策の基本的な考え方

課題のある水環境

現行の環境基準と水環境管理  
による改善

- ・汚濁物質の流入負荷量は減少傾向
- ・水質の改善

水環境の現状課題

- ・COD高止まり ・底層DO低下 ・水産資源の減少
- ・栄養塩類不足の指摘 ・アオコが未だ発生(湖沼) 等

環境基本計画（令和6年5月閣議決定）

水・大気環境政策により持続可能な社会を構築し次世代に引き継ぐためには、良好な環境を目指すとともに、人がその良好な環境とふれあい、良好な環境を持続可能なかたちで利用することによって、人々の満足度（ウェルビーイング）の向上や地域活性化など、地域に具体的なメリットを創出することが重要である。（略）具体的には、良好な環境の創出に向けて、豊かな水辺、星空、音の風景等、地域特有の自然や文化の保全により、地域住民のウェルビーイングの向上と地域活性化を実現する取組、生物多様性の保全や地域づくり等にも資する総合的な水環境管理を目指すための取組、（略）を実施する

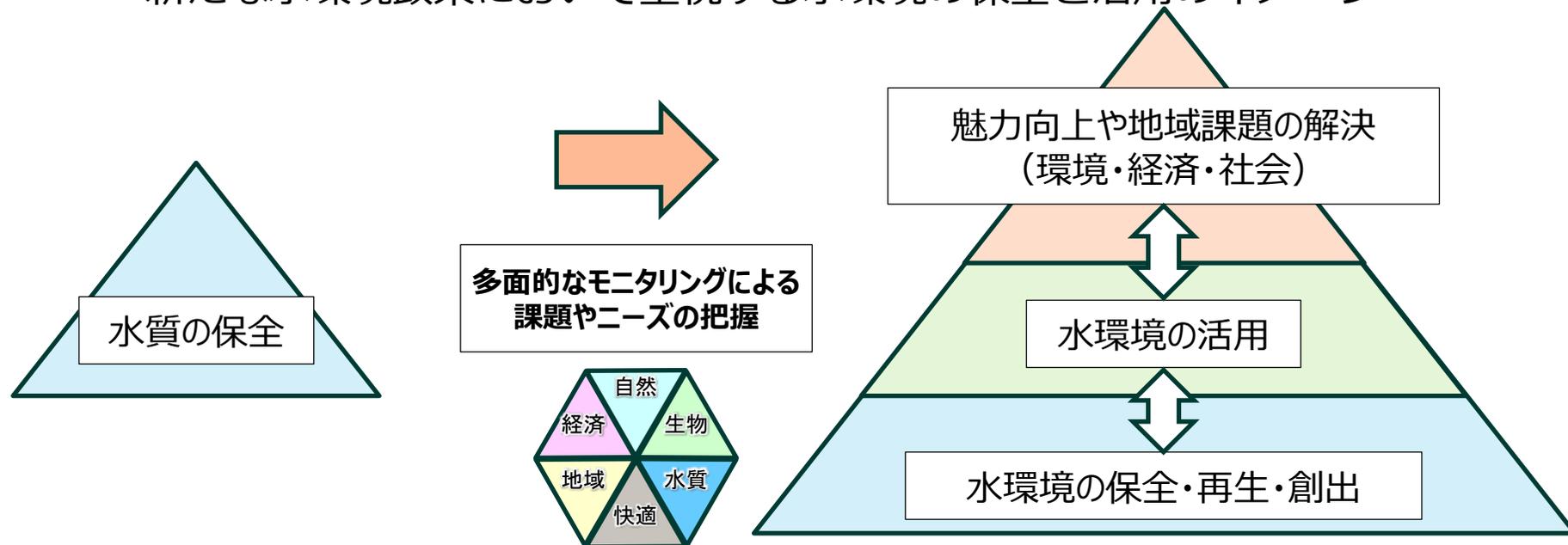
水質のみではなく、生物の豊かさ、景観、文化、地域活動等の多面的な観点から捉え、地域ニーズに応じた総合的な水環境管理を目指す取り組みへの展開

望ましい水環境

# 新たな水環境政策の基本的な考え方

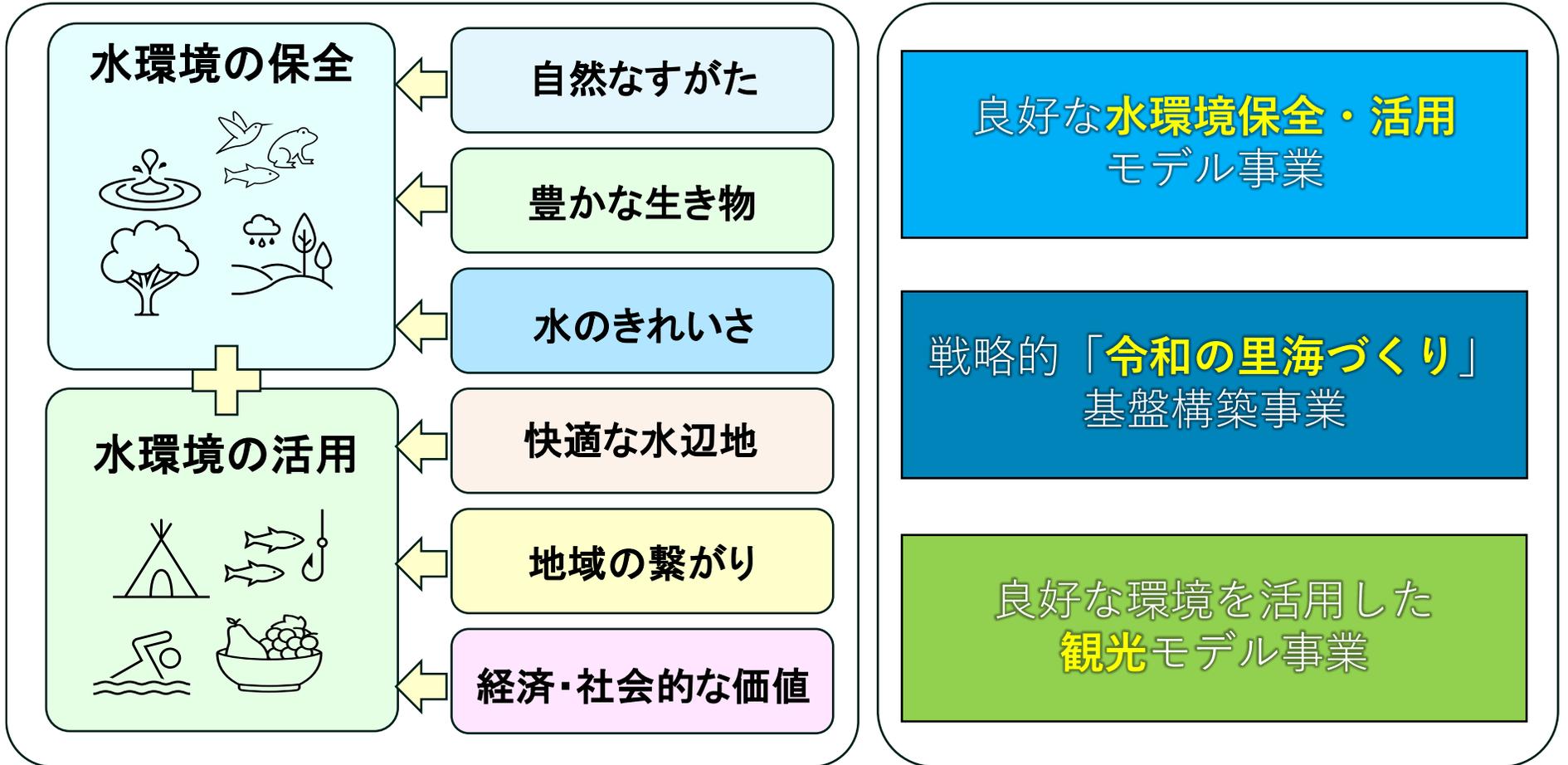
- 第6次環境基本計画の目的にも示されているとおり、『**「環境保全」を通じた「現在および将来の国民一人一人の生活の質、幸福度、ウェルビーイングの向上」**』が重要とされた。
- 今後の新たな水環境政策の在り方の方針として、**水環境保全に係る活動と地域づくりを一体的に取り組むことにより、水辺の価値の向上と地域の魅力向上を目指す。**
- 地域づくりと一体となって取り組むことにより、結果として、水環境の保全・再生・創出も、これまで以上に促進されることを期待。
- また、地域と連携した水環境の保全・活用に向けて、多面的なモニタリングを行うことで、水環境の課題やニーズを把握する。

## 新たな水環境政策において重視する水環境の保全と活用のイメージ



## 多面的なモニタリング

## モデル事業 「地域の水環境の保全・活用」



水辺の価値向上 地域の魅力向上

---

# 1. 多面的なモニタリングについて

---

# 多面的な水環境モニタリング

○かつての激甚な水質汚濁は改善し、**水環境保全への国民・地域のニーズは大きく変化**しかし、**現在の環境基準やモニタリング・規制**は、依然として**水質のみを対象**

→水環境を、単に水質の定量的な分析結果のみで評価するのではなく、

- ・魚・鳥・植物などの**生きものが豊か**か
- ・**景色がきれい**か、ごみがないか
- ・歴史や文化があるか、活用されているか、**地域の活動**があるか

**などの観点もモニタリング対象**とし、地域のニーズに応じた水環境を目指す。

## 水環境健全性指標(みずしるべ)



フィールド調査  
(那須塩原市)

## ◆ 平成16年～ 水環境健全性指標検討調査委員会

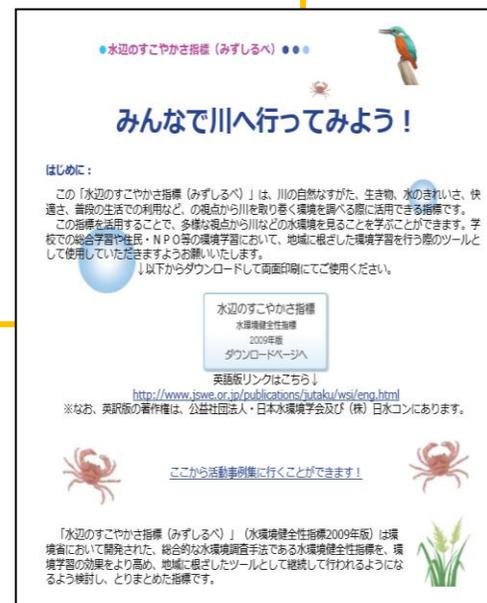
- 環境省事業の水環境健全性指標検討調査（※日本水環境学会受託）のなかで、水環境を総合的に評価する指標の研究を推進。
- 水環境の総合指標研究委員会（平成21～24年度）を設置。
- 総合的な指標について、研究レベルの向上や適用対象の拡大、普及活動の情報交換など。

### 健全性指標の策定における基本的な方針

- ①指標は、水質だけでなく幅広い観点から水環境を捉
- ②精神の豊かさ等、心の面からも水環境を捉える
- ③わかりやすく、つかいやすく、継続的に利用される
- ④住民やNPO等の活動成果が映し出され、学校教育や行政施策の立案にも役立てる

## ◆ 平成21年 水辺のすこやかさ指標 公表 （水環境健全性指標2009年版）

## ◆ 平成22年 水辺のすこやかさ指標 活用ガイドライン策定・HP作成



## 5つの指標（ものさし）



### 1 自然なすがた：

水環境に自然がどのくらい残されているかをあらわします。



### 2 ゆたかな生きもの：

水環境にいる生きものの豊かさをあらわします。



### 3 水のきれいさ：

水のきれいさ、清らかさをあらわします。



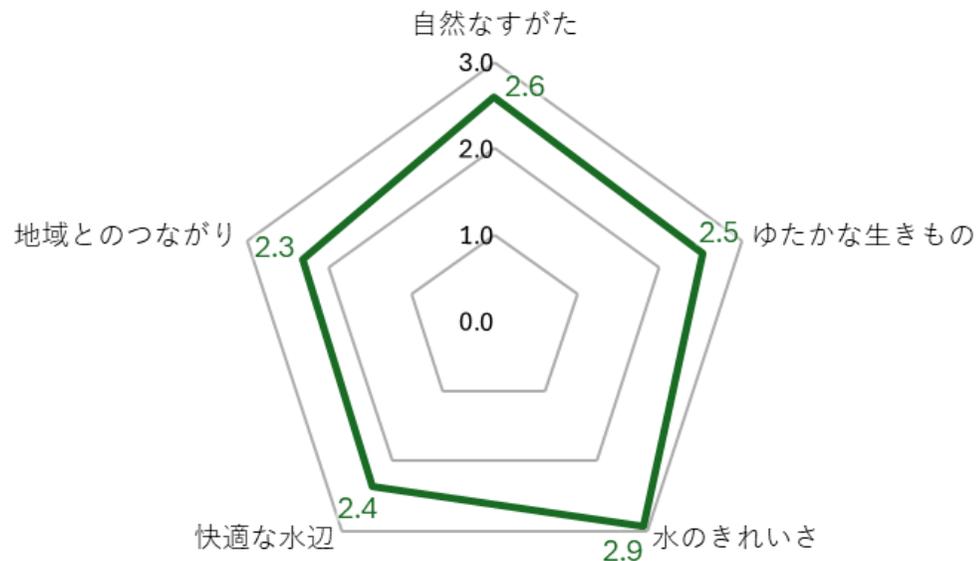
### 4 快適な水辺：

水環境のきれいさや静かさを、人の感じかたで調べます。



### 5 地域とのつながり：

水環境と人とのつながりをあらわします。



▲生き物調査の様子

## モニタリング

## 自治体での指標の例

### 国土交通省

#### 今後の河川(湖沼)水質管理の指標 及び調査(案)【改定版】(R6.8)

##### 【指標】

- ①人と河川の豊かなふれあいの確保
- ②豊かな生態系の確保
- ③利用しやすい水質の確保
- ④下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保
- ⑤河川の基本的特徴の表現

#### 河川水辺の国勢調査 【調査項目】

- ①生物調査(魚類、底生動物、植物、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類等)
- ②植生図、瀬・淵や水際部状況
- ③河川空間の利用者数



### 愛知県 (水循環再生指標)

- ①水のきれいさ : 水の色、におい
- ②水の量 : 流れのはやさ 等
- ③生態系 : 魚、植物 等
- ④水辺のようす : ゴミ有無 等



水循環再生指標は次のことをめざして作成しています。

- 市民のみなさんにとってわかりやすいものであること。
- 最新の測定手段とできるだけ手軽に「水循環再生指標」の測定ができること。
- 最新の測定手段とできるだけ手軽に「水循環再生指標」の測定ができること。
- 水循環再生指標の測定が容易であるものとし、身近なところで行えること。
- 生活で活用している「水」と「緑」のつながりと関係の深い測定ができること。
- 身近な生活環境(河川・湖沼・水辺)の中で、水循環(水循環再生)の測定ができることとすること。

### 島根県 (五感による湖沼環境指標)

- ①見る : 湖水の澄み具合等
- ②聞く : 音
- ③嗅ぐ : 臭気
- ④味わう : 魚介類
- ⑤触れる : 湖水の感触



### 宮崎県 (五感を使った水辺環境指標)

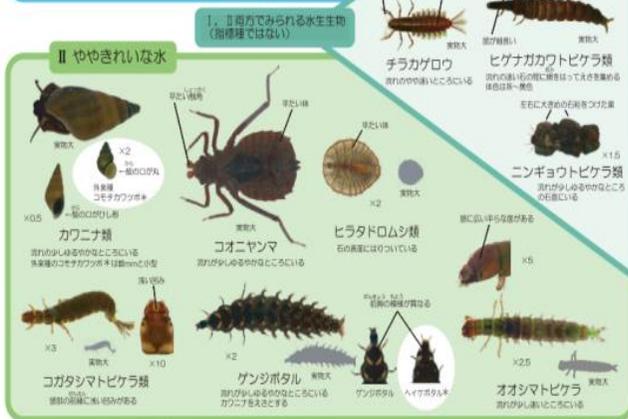
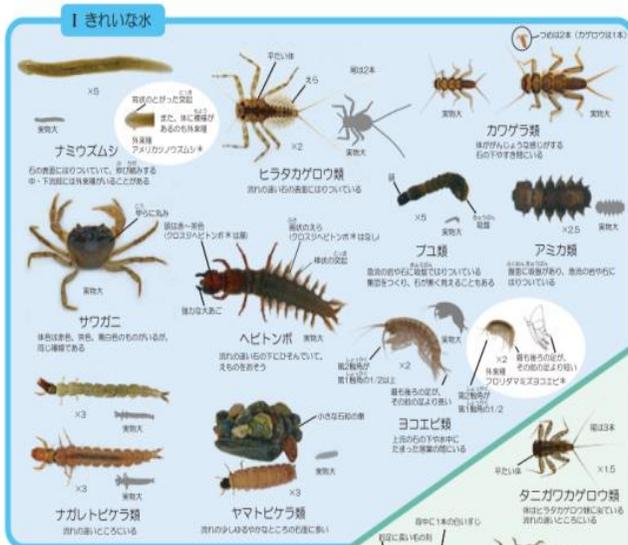
- ①自然の音
- ②自然の風景
- ③水の透明度
- ④水のおいしさ
- ⑤水の水質
- ⑥水生生物



- 環境省と国土交通省が共同で呼びかけ。令和5年度は全国で約37000人が参加した。
- こういった場でも、水生生物調査に加えて、みずしるべのような取組を実施できる可能性がある。

## 調査方法

- 河川に生息する水生生物のうち、
  - ①全国各地に広く分布し、
  - ②分類が容易で、
  - ③水質に係る指標性が高い、
 29種を指標生物としている。
- 河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、
  - I (きれいな水)
  - II (ややきれいな水)
  - III (きたない水)
  - IV (とてもきたない水)
 の4階級で水質の状況を判定。



\*のついている生物はよく見えますが指標種 (水質判定に使う水生生物) ではありません。



\*のついている生物はよく見えますが指標種 (水質判定に使う水生生物) ではありません。

# 水環境健全性モデル調査について（R6年度事業）

■ 令和6年度に、「水環境健全性指標（みずしるべ）」を活用した調査、水生生物調査を行い、**水質以外の要素による水環境の健全性を評価する手法、運用時の課題について検討した。**

- 公募により選定された**全国5自治体**で実施（3県、2政令市）
- 河川、湖沼及び海岸の**全12ヶ所**で実施（河川6ヶ所、湖沼3ヶ所、海岸3ヶ所）

自治体	調査地点	属性
栃木県	・湯ノ湖 ・湯川	湖沼 河川
埼玉県	・都幾川	河川
千葉県市川市	・国分川 ・調整池 ・三番瀬	河川 湖沼（池） 海岸
大阪府堺市	・和田川 ・東除川 ・菰池 ・堺浜	河川 河川 湖沼（池） 海岸
徳島県	・櫛木海岸 ・勝浦川	海岸 河川
全国5自治体	河川：6か所 湖沼：3か所 海岸：3か所	



# (参考) 調査結果① (大阪府堺市)

- ・大阪府堺市の菰池において、水辺のすこやかさ指標（みずしるべ）及び全国水生生物調査による調査を用いて、小学生及び同伴の保護者の参加者27名とともに、生き物の豊かさ、景観、地域活動などの観点で調査を実施。

## <調査内容>

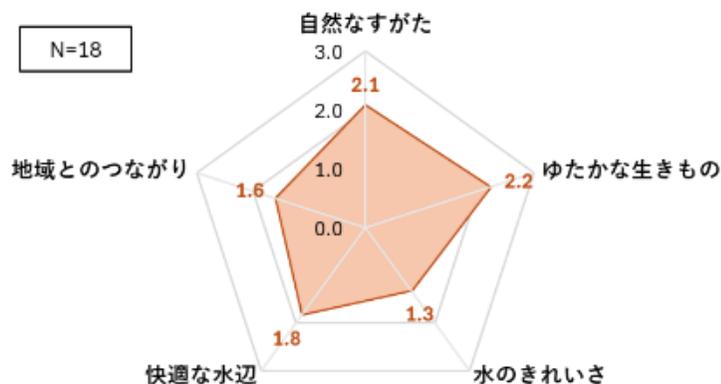
堺市の小学生及び保護者27名を対象として、ため池で生き物観察やみずしるべを用いた調査を実施。参加者の安全を考慮し、生き物採取はため池の流出水が流れる「せせらぎ水路」で実施。

## <調査結果>

みずしるべ回答者27名の評価値の平均を示す。

「水のきれいさ」の観点で低い評価となった。

一方で、「自然なすがた」や「ゆたかな生きもの」の観点で高い評価となった。



写真：「せせらぎ水路」での生き物採取の様子

# (参考) 調査結果② (千葉県市川市)

・千葉県市川市の国分川及び国分川調節池において、水辺のすこやかさ指標（みずしるべ）及び全国水生生物調査による調査を用いて、高校生と教員の参加者11名とともに、生き物の豊かさ、景観、地域活動などの観点で調査を実施。

## <調査内容>

市川市の高校生と教員11名を対象として、河川及び調節池で生き物観察やみずしるべを用いた調査を実施。

関心の高い参加者であったことから、**試行的に理想とする将来の水環境についても点数付けを実施。**

## <調査結果>

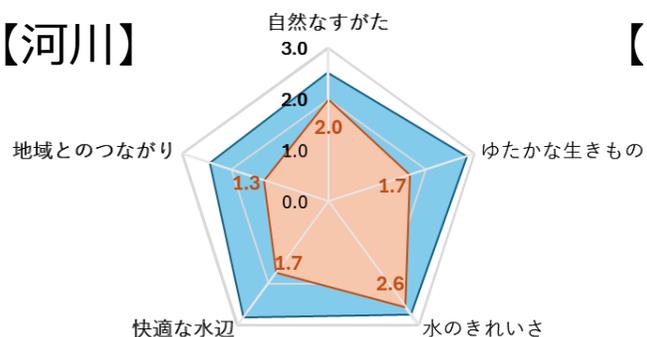
みずしるべ回答者11名の評価値の平均を示す。

河川では、水のきれいさ以外の観点で低い評価となった。

調節池では、全般的に値が低い評価となった。

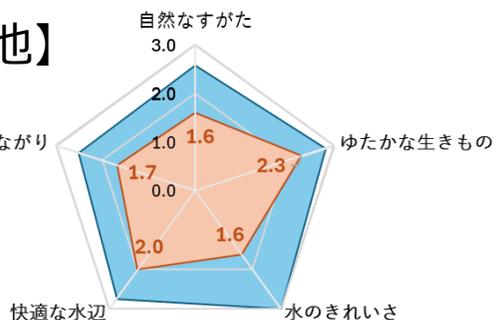
試行的に実施した結果から理想値との乖離状況が把握された。

### 【河川】



🟠: 現状    🔵: 理想の将来像

### 【調節池】



🟠: 現状    🔵: 理想の将来像



写真：簡易水質調査のための採水の様子

---

## 2. 良好な環境の創出について

---

# 令和7年度良好な環境の創出・活用を推進するモデル事業等の概要

## ■ 令和6年度

良好な環境創出活動推進  
モデル事業

「令和の里海づくり」  
モデル事業

## ■ 令和7年度から

※令和7年度の政府予算の成立が前提

水源～陸域・地下水～川など  
(水環境以外のかおりや音環境も含む)

沿岸域 (里海)

良好な環境  
(陸・海問わず)

良好な**水環境**保全・活用  
モデル事業

**戦略的**「令和の里海づくり」  
基盤構築事業

+

良好な環境を活用した  
**観光**モデル事業

保全・活用

活用

国民のウェルビーイングや地域の魅力度・活力を向上させる  
**望ましい水環境・水循環等を実現**

- 水環境の保全と活用により、豊かな水辺等の「良好な環境」を活かした地域の魅力向上、そば、わさび、酒づくり等の地場産業の振興等の地域活性化に繋げていくためのモデル事業を実施。
- これにより、地域における関係主体の取組を促し、水環境の適切な管理・良好な環境の創出に繋げる。
- 令和7年度は、水環境等の保全・活用等による地域課題の解決に取り組む5地域を選定（応募21地域）。

## 水環境等の 保全・調査活動



多様な主体で行う調査



湧水の水質成分・歴史的背景の調査

## 水環境等の 活用方策の検討



湧水活用の養殖事業

## 水環境等の保全・活用のための体制づくり



地域内外の関係者と連携

河川、地下水、湧水、湖沼、汽水湖、池、田んぼ、湿地、流域などの

**良好な環境の創出**に取り組み、

**地域課題**の解決・**ウェルビーイング**の実現へ！

# 令和7年度良好な水環境保全・活用モデル事業 選定団体



## 高校生と釣り人によるイワナの資源量調査および水圏活用と保全のための

**事業概要** 拠点・コミュニティづくり (団体：GOODLIFEISLAND合同会社)

人口減少や高齢化が進む遊佐町の月光川水系において、釣り人、地域住民らによるイワナの資源量調査や高校生によるツアープログラム開発を行い、様々なセクターが協働して「遊佐の水圏を楽しみながら守る」仕組みとネットワークづくりを目指す。

### 実施内容

- イワナの資源量調査に関する勉強会等の開催
- 高校生と連携したツアープログラムの開発・実施
- 取組を通じた地域内外の様々なステークホルダーのコミュニティ・ネットワークづくりの検討

(山形県酒田市)



## 「茂林寺沼湿原」保全・活用100年プロジェクト

**事業概要** (団体：館林市教育委員会)

茂林寺沼湿原において、湿原利害関係者を含めた地域の多様な主体との連携プラットフォーム「茂林寺沼湿原100年会議」を構築する。魅力発見調査、維持管理トライアル等の活動を通じ、地域ぐるみでの湿原(里沼)の再生を目指す。

### 実施内容

- 茂林寺沼湿原100年会議の構築
- 地元小中学生のフィールドワークによる魅力発見調査と「茂林寺沼タイムス」・貴重動植物解説マップの作成
- 地元ボランティアによる里沼の保全、維持管理トライアル
- 水質浄化に向けた水流調査・実証実験等の実施

(群馬県館林市)



## びわ湖源流の里山1300年の歴史と未来をつなぐ水辺空間創出

**事業概要** リバー・エコツアー (団体：一般社団法人栗東市観光協会)

琵琶湖の源流・栗東市走井集落で、集落の歴史・文化・農業と水とのつながりを取材・発信するとともに、水辺の調査・保全活動を含めた「リバー・エコツアー」を造成し、集落住民・来訪者・企業等の連携による持続可能な水環境保全体制を構築する。

### 実施内容

- 水辺環境の保全活動を含めた「リバー・エコツアー」の造成
- 水辺環境と歴史・文化のつながりについて取材、発信するための普及・啓発ツールの作成
- 取組を継続して実施できる体制づくり及びOECM等の認定制度等の活用の検討

(滋賀県栗東市)



## コウノトリの新たな生息地となる水環境の創出と活用

**事業概要** (団体：特定非営利活動法人としまコウノトリ基金)

鳴門市瀬戸町島田島において、耕作放棄地を豊かな水環境として復活させ、「美しい農村景観の復元」「コウノトリの新たな生息地の創出」「環境教育・観光利用への活用」「自然共生サイトへの登録」により、水環境保全・活用の共創体制の確立を目指す。

### 実施内容

- 多様な生物が生息するビオトープの整備
- 自然共生サイトの登録準備(勉強会、生物調査)
- 水環境の活用(近隣キャンプ場・リゾートホテル向け観光コンテンツづくり、ネイチャーガイド試行)

(徳島県鳴門市)



## 大浦川再生型ツーリズムプロジェクト

**事業概要** ～地域と訪問者がともしはぐむ水辺の未来～ (団体：株式会社わんさか)

大浦川流域において、流域の生態系、水質保全と地域経済活性化を一体的に進める「再生型ツーリズム」モデルの確立を目指す。訪問者の増加が保全・再生、コミュニティの強化と地域経済の活性化につながる好循環の創出を実現する。

### 実施内容

- 科学的データの収集と多様なステークホルダーによる保全・再生プロジェクトの骨子策定・体制構築
- 市民参加型モニタリングの試行とフィードバック方策の検討
- 環境協力金の仕組みを活用した再生型ツーリズム造成

(沖縄県名護市)



# 令和7年度戦略的「令和の里海づくり」基盤構築支援事業

- 「**①藻場・干潟の保全・再生・創出**と**②地域資源の利活用による好循環**、さらに**③多様な主体者との連携**」※を実行する「令和の里海づくり」の実現に向け、R7年度～R9年度の3カ年事業として、**8団体を選定**。※「今後の里海づくりのあり方に関する提言」で示した理念と指針の3項目。
- 地域が実施する**計画策定と事業実践を資金的・技術的に伴走支援**し、**共に成果を創出**。
- ネイチャーポジティブ、ブルーカーボン、森里川海の連環の再生といった**複数分野への統合的なアプローチ**を目指し、水産業や海洋教育、沿岸域の総合的管理（ICM）へも貢献。

【対象事業】 ※R7は600万円/1団体で最大3年間の事業期間。アドバイザー設定、マッチングの場の提供、研修などの育成プログラム など複数の支援プログラムを実施

- ・ 自然環境や藻場・干潟等の**保全・再生・創出**に資する活動
- ・ 希少種に限らず沿岸の**生態系の保護やモニタリング、データベース化**
- ・ 自然や藻場干潟等の保全・再生等活動を体験できる**観光コンテンツ**の造成
- ・ 人材育成に向けた**海洋教育の単元開発、地域の学校等への教材提供**
- ・ **シンポジウムやワークショップ**の開催等、啓発、**プロモーション**
- ・ 関係省庁の施策との**連携**
- ・ 被災地としての**復興**
- ・ 上記を実施するための協議会等の設置や他団体等との**連携、枠組みづくり**

## 藻場・干潟の 保全・再生・創出



## 地域資源の利活用 による好循環



## 多様な主体の連携



沿岸域の**良好な環境の創出**に取り組み、**地域課題**の解決・**ウェルビーイング**の実現へ！

# 令和7年度戦略的「令和の里海づくり」基盤構築支援事業 選定団体



	団体名 (活動場所)	事業名	実施内容 (概要)	創出したい成果
1	NPO法人環境生態工学研究所 (E-TEC) (宮城県宮城郡松島町)	松島里海バスケット	コンソーシアム設立、枠組み作り、環境保全・教育普及の拠点づくり	「里海」×「連携」×「学びの拠点化」 NPOがコーディネーターの役割を果たし、将来的な教育普及等の拠点化も視野に、地域一体的な里海づくりを実現。
2	一般社団法人 東松島みらいとし機構(HOPE) (宮城県東松島市)	東松島BLUE LANDプロジェクト	海底の底質改善による藻場再生、多様な主体者との連携、海洋教育	「里海」×「地域循環共生圏」×「水産業」 東日本大震災により変化した海洋生態系において、地域循環共生圏の理念を踏まえ里海づくりに取り組む。
3	和倉温泉創造的復興まちづくり 推進協議会 (石川県七尾市)	和倉温泉からめぐる 七尾湾里海再生プロジェクト	震災復興、観光活用、地域づくり、藻場のモニタリングと保全	「里海」×「災害復興」×「観光」 災害からの復興において、観光を成り立たせている地域資源の里山・里海の保全と観光の融合により、持続可能性の確立を目指す。
4	国立大学法人三重大学 (三重県鳥羽市)	日本の里海 ～三重県鳥羽市における地域資源としての自然環境・共生文化・生物多様性利活用モデル実証事業～	研究・教育拠点 (アライアンス協定に基づく) 及び漁観連携、漁業や海女文化の継承と観光、藻場保全やモニタリング	「里海」×「海女文化」×「モニタリング」 地域の実施主体を地方大学がサポートし、地域文化や自然環境、漁業と観光の連携促進、自治体の施策にコミットし、豊かな海の持続的利用のあり方を模索。
5	貝塚里海づくり未来協議会 (大阪府貝塚市)	二色の浜海岸地域における持続的な生態系の保全と里海ネットワーク構築事業	アマモ場・干潟のモニタリング、観測会等の海洋教育推進、地域のネットワークづくり	「里海」×「博学官連携」×「地域・民間参画」 大阪湾北限のアマモ場の保全・利活用に向けて、社会教育施設が地域連携による里海づくりのハブとなり取組の活性化を目指す。
6	尾道東部漁業協同組合 (広島県尾道市)	松永湾の再生・利活用に向けた新たな里海創生プロジェクト	干潟環境の改善、アサリ再生、藻場再生、エコツアー、モニタリング、地域づくり	「里海」×「漁業振興」×「科学的根拠」 持続可能な活動に向けて科学的知見を積み上げ、漁協・自治体・地銀・企業の協働・地域連携の取組を設計。
7	一般社団法人ふくおかFUN (福岡県福岡市)	博多湾から始める 沿岸と流域が繋ぐ人の営みと自然調和	市民科学、モニタリング、海洋教育、自治体や企業・管理者を巻き込んだネイチャーポジティブに向けた地域づくり	「里海」×「市民科学」×「伝承」 日々の潜水調査で得る発見を核に、漁業者、港湾管理者、科学者、市民とともに自然と人の営みの調和した海を育む市民科学を醸成し後世に伝承する。
8	肥後銀行 公益財団法人 肥後の水とみどりの愛護基金 (熊本県葦北郡芦北町、天草市)	八代海等沿岸域における産官学民金連携によるアマモ場再生及び利活用による里海づくり事業～未来に続く里海を目指して～	高校生との連携による森里川海連環の取組による地下水とアマモ場等の保全・再生、伝統漁法 (うたせ船) 観光のエコツーリズム化による存続	「里海」×「産官学民金」×「産業振興」 陸域での地下水保全活動の経験を活かし、地銀及び公益財団が地域の調整役の主体者になり産官学民金が連携し、森里川海の連環する里海づくりを実現。

※ 事業実施に際して、事業名や事業内容は一部変更される可能性があります。

# 令和7年度良好な環境を活用した観光モデル事業

- 我が国固有の**五感で感じる水や音、かおり等の自然資本（良好な環境）**は、**歴史・文化等の主要な構成要素**であり、**日本独自のもの**として、インバウンドにおいて重要であることから、これら資源の活用により、**インバウンド誘客を促進し、持続可能・リジェネラティブな観光地域作りを達成**する。
  - これにより、**今後の地方観光の活性化につなげ**、さらには、人材・資金等を確保することで、**良好な環境の保全・再生・創出にも繋げる**。
  - 令和7年度は、その実現を目指す**10地域を選定**し（応募32地域）、実施団体と連携し事業を実施。
- ※本事業は、「水辺の環境活動プラットフォーム」において、良好な環境の創出に関する各種取組と連携。

## 【事業対象となる「良好な環境」】

- 名水百選、平成の名水百選の選出地域
- 残したい“日本の音風景百選”の選出地域
- かおり風景百選の選出地域
- 自然共生サイト
- ラムサール条約湿地
- 令和4年度～令和6年度の良好環境創出関連モデル事業の対象地域



## 【事業内容】

- **インバウンド誘客に資する自然資本の磨き上げ**のための、資源調査、戦略検討、多言語対応、コンテンツ開発、ツアー造成等

事業期間：2年間（継続審査あり）

選定地域：10地域

事業費：1団体1,000万円/年

- 事業成果向上のための伴走支援を地域の課題等に応じて実施

⇒保全と活用が好循環する**環境ウェルビーイングツーリズム**を実現

# 令和7年度良好な環境を活用した観光モデル事業 選定団体



	団体名 (活動場所)	事業名	事業概要
1	<b>一般財団法人 史春森林財団</b> (北海道大樹町・広尾町)	北海道南十勝の自然共生サイト・OECMと 国立公園を対比しながら日本の自然観を 観て感じ取れるエコツアーの多言語対応化	自然共生サイトである「生花の森」等にて、森林作業体験等を案内するプログラムを多言語化・AI 化して観光コンテンツへ磨き上げ、地域の自然を案内できる人材を育成。
2	<b>特定非営利活動法人 おつちのあそび</b> (岩手県大槌町)	海と共生するまち・大槌 ～環境再生型観光モデルの創出～	「令和の里海づくり」モデル事業を実施した沿岸環境を対象に、多様な地域資源で共通するストー リーの構築と、藻場再生を軸とした環境再生型観光プログラム開発等を実施し、地域ならではの持 続可能な観光モデルを確立。
3	<b>阪南市</b> (大阪府阪南市)	「海と山が会えるまち」はんなん 森里川海プロジェクト	自然共生サイトである「阪南セブンの海の森」を対象に、森里川海をつなぐコンテンツの造成等を実施 し、持続可能で好循環な地域づくりの実現を目指す。
4	<b>一般社団法人 豊岡観光イノベーション</b> (兵庫県豊岡市)	人とコウノトリが共生するまち・豊岡 リジェネラティブな旅 ～Regenerative journey to discover the stories of the storks～	ラムサール条約湿地や自然共生サイトを含む、コウノトリの郷公園を中心としたエリアにて、コウノトリ野 生復帰の取組みにより再生・創出された良好な環境とその取組みを十分に楽しめるコンテンツを造成 することで、コウノトリの生息地の持続可能な保全に繋げ、環境と経済の好循環を拡大させる。
5	<b>一般社団法人 北房観光協会</b> (岡山県真庭市、備前市、笠岡市)	岡山県広域里山・里海学習体験型 コミュニティプロジェクト 「OKAYAMA SATOYAMA-SATOUMI UNIVERSITYプロジェクト」	音風景百選や「令和の里海づくり」モデル事業の対象地を含む真庭市・備前市・笠岡市の広域な里 山里海エリアにて、オンラインとオフラインが一気通貫した自然保全学習・体験コミュニティを形成し、 地域への継続的な接点と再来訪を促す仕組みを提供。
6	<b>株式会社のどが荘暮らし の設計室・hinel</b> (愛媛県西条市)	「水の都西条」の未来につなぐ水資源 高付加価値化と環境保全還元モデル構築 プロジェクト	名水百選に選出された「うちぬき」と呼ばれる地下水を中心とした豊富な水資源を対象に、水資 源の多様な利活用が生み出されるチームづくりと高付加価値の観光コンテンツの開発や水資源 のブランド強化等を行うことで、持続可能な「水の街の循環型観光モデル」の構築を目指す。
7	<b>株式会社山都竹琉</b> (熊本県山都町)	山都の有機農業をととして体験・交流する 「たべる-まなぶ-つながる-そだてる」の良好な 環境関係人口創出プロジェクト	自然共生サイトである「Present Tree in くまもと山都」を中心に、有機農業を軸として、農産物を 活かした地域の認知度向上、教育旅行・農業研修・エコスタディツアーの受入体制構築、観光プロ グラム開発等を行い、アグロエコツーリズムの構築を目指す。
8	<b>山川町漁業協同組合</b> (鹿児島県指宿市)	指宿海域の自然共生サイトの活用と 持続可能な観光モデルプロジェクト	かおり風景百選・平成の名水百選や自然共生サイトに選定・認定された海域を対象に、藻場に係る 学び、食、オフセットを織り交ぜたコンテンツを構築し、温泉と豊かな自然を基軸とした観光地としての 魅力と持続可能性の向上を目指す。
9	<b>一般社団法人 E'more秋名</b> (鹿児島県龍郷町)	～100年後も続く観光と自治～ リジェネラティブツーリズム創出事業	自然共生サイト「奄美大島真米の里 秋名・幾里・大勝」の一部である田園地帯にて、地域住民と 来訪者による共創のあるべき姿とプログラムの検証、ストーリーやブランディング戦略等を通し、観光客 が来るほど自然も暮らしも豊かになる地域の実現を目指す。
10	<b>一般社団法人 大宜味村観光協会</b> (沖縄県大宜味村)	「飲水思源」 ～やんばるの水に親しみ、その源に思いをはせる～	良好な水循環・水環境創出活動推進モデル事業の対象地である「平南川ター滝」を中心に、持続 可能な観光情報発信、「里山歩き」のプログラム開発、オーバーツーリズム抑制の制度設計等を行い、 地域の自然観を伝えるサステナブルな観光地域づくりを広く世界の人々と協創。

---

## 3. 水辺の環境活動プラットフォーム

---

# ウェブサイト「水辺の環境活動プラットフォーム」について

- 「良好な水環境の創出」による地域の魅力を向上させる活動を推進するため、令和7年5月にウェブサイトを開設。
- 地域で実施されている良好な水環境等の保全・活用に関する活動や、身近な水辺の調査に関する情報を集約して提供。会員登録（団体登録に限る）すると、自らの活動も投稿できる機能もあり、情報交流の場としても活用していく。



## ウェブサイトコンテンツ

### 良好な環境を活かした地域づくり

水環境の保全と活用に関する活動を案内

- 名水づくり
- 里海づくり
- 観光地域づくり



## 身近な水辺の調査

多面的に水環境をモニタリングする活動を案内

- 全国水生生物調査
- 水辺のすこやかさ調査（みずしるべ）
- 身近な水辺の調査の事例
- 水辺の調査お役立ち情報



## PF会員の構成と会員メニュー

会員	行政、企業、団体、個人
会員メニュー	会員の基本情報の登録及び掲載：
	取組に関する登録及び掲載： 良好な水環境等の保全・活用に関する取組などを共有・PRする
	会員主催イベント情報の登録及び掲載： 良好な水環境等の保全・活用に関するイベント情報を発信する
	交流掲示板の登録及び掲載：良好な水環境等の保全・活用に関して、他の団体等との交流等を希望する案件情報を発信する <a href="#">募集します</a> <a href="#">支援します</a>
メールマガジンによるプラットフォーム活動等の情報受信等	

- **会員登録はこちらから**  
水辺の環境活動プラットフォームウェブサイト  
<https://policies.env.go.jp/water/waterside-environment/>



# 水辺の環境活動プラットフォームの会員になると・

- 良好な水環境等の保全・活用に関する **取組・イベントの投稿**が可能
- 他の団体と**交流したい案件の投稿**が可能
- メルマガ等による**情報受信**が可能



会員登録はこちらから

## 水辺の環境活動プラットフォーム

TOP お知らせ・イベント 活動報告 会員情報

会員登録・会員メニュー

個人登録 ▶

**団体登録 ▶**

取組登録 ▶

イベント投稿 ▶

交流掲示板投稿 ▶



### 行政・企業・団体情報

行政・企業・団体名称 \*

組織名

組織名 (正式名称)

※掲載時の表示組織名 (正式名称) をご入力ください。

組織名フリガナ

組織名フリガナ

### 認定取得状況

- 名水百選  平成の名水百選  残したい"日本の音風景百選"  かおり風景百選
- 「星空の街・あおぞらの街」全国大会の開催  みどり香るまちづくり企画コンテスト受賞  自然共生サイト認定
- ラムサール条約湿地  良好な環境の創出・活用を推進する環境省モデル事業等※の実施  TNFD Early Adopters
- TNFD Adopters  TNFD Forum Member (TNFD日本協議会)  SBTs for Nature認定  **エコ・ファースト認定**

※良好な環境の創出・活用を推進する環境省モデル事業等

・ 令和5年度良好な水循環・水環境創出活動推進モデル事業 ・ 令和6年度良好な環境創出活動推進モデル事業 ・ 良好な水環境保全・活用モデル事業 ・ 令和4年度～令和6年度における「令和の里海づくり」モデル事業 ・ 戦略的「令和の里海づくり」基盤構築事業 ・ 良好な環境を活用した観光モデル事業

行政・企業・団体所在地住所 \*

郵便番号

郵便番号

都道府県

都道府県

市町村以下

市区町村以下

主な活動拠点

----- 選択してください -----

- 会員情報は、活動拠点として登録いただいた地域単位で表示
- 地域における関係団体の連携を促進

# キックオフのイベント「水辺の環境活動フォーラム」 令和7年6月9日



- 令和7年度環境省モデル事業採択の23団体による100秒PRや、水環境に関する様々な団体からの話題提供、ディスカッションにより、水辺を活用した地域の魅力向上について議論を深めます。

## ● 開催概要

日時：令和7年6月9日（月）13:30～17:30（予定）  
開催形式：ハイブリッド開催（会場／Zoom ウェビナー）  
会場：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター2階 sola city Hall  
定員：会場 約250名、オンライン500名  
※詳細は下記リンクよりご確認ください。

[https://www.env.go.jp/press/press\\_04877.html](https://www.env.go.jp/press/press_04877.html)

- 話題提供「新たな水環境政策の展開について」環境省水・大気環境局
- 「モデル事業実施団体による100秒PR」R7年度環境省モデル事業採択23団体
- 水環境に関する様々な団体による多様な取組の展開（予定）

- ・秦野市 市長 高橋 昌和 氏
- ・那須塩原市 市長 渡辺 美知太郎 氏
- ・一般社団法人CDP Worldwide-Japan ジャパン・マーケットリード 松川 恵美 氏
- ・公益財団法人国際エメックスセンター 理事長 岡田 光正 氏
- ・NPO法人黒潮実感センター 理事長 神田 優 氏
- ・パタゴニア・インターナショナル・インク日本支社  
オーシャンイニシアティブディレクター 柳谷 牧子 氏
- ・公益財団法人イオン環境財団 バダヴァモヴァ ザリナ 氏
- ・クラブツーリズム株式会社 マーケティング本部 営業企画部  
新規事業開発・アライアンスビジネス担当 リーダー 鈴木 光希 氏
- ・経団連自然保護協議会
- ・内閣府地方創生事務局

お申し込みはこちらから



- ・参加申込フォーム  
[https://forms.office.com/pages/responses.aspx?id=XdHbiJfUFUGXlb9mMfz\\_dHEV\\_LvCfofhGrmRfJqZAoGLUNVROU01QTThBUjMxVTdUNVY2Nk9GT1kvSi4u&route=shorturl](https://forms.office.com/pages/responses.aspx?id=XdHbiJfUFUGXlb9mMfz_dHEV_LvCfofhGrmRfJqZAoGLUNVROU01QTThBUjMxVTdUNVY2Nk9GT1kvSi4u&route=shorturl)
- ・申込締切：令和7年6月6日（金）17:00

参加申込フォーム



- パネルディスカッション「地域で水辺の環境活動を広めるためのポイントとは」

- <司会>  
・環境省水・大気環境局 環境創造室長 鈴木 清彦
- <パネリスト>  
・那須塩原市 市長 渡辺 美知太郎 氏
- ・一般社団法人環境パートナーシップ会議 代表理事 星野 智子 氏
- ・株式会社さとゆめ 経営企画室 ディレクター 相原 朋世 氏
- ・パタゴニア・インターナショナル・インク日本支社  
オーシャンイニシアティブディレクター 柳谷 牧子 氏
- ・公益財団法人イオン環境財団 バダヴァモヴァ ザリナ 氏
- ・クラブツーリズム株式会社 マーケティング本部 営業企画部  
新規事業開発・アライアンスビジネス担当 リーダー 鈴木 光希 氏